



学校
だより

トベラの本

葛城市立新庄北小学校

2月 NO. 11
令和4年2月10日

発行者 校長 杉村茂美

「1月は行く」「2月は逃げる」

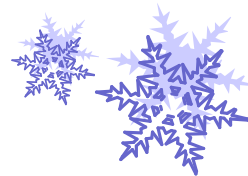
3学期も早1ヶ月が経ちました。この時期には、「1月は行く」「2月は逃げる」という言葉をよく聞きます。もともとは、年度末（1月～3月）は何かとやるが多くて忙しいことを表現した言葉ですが、2月は他の月よりも日数が少なく28日しかありません。過ぎゆく時間は二度と戻ってこない



ので、今この時期を有意義に使うことが大切になります。2月が逃げてしまわないようにしっかり捕まえて、毎日毎日を計画的に過ごしていきたいと思います。
新型コロナウイルス感染症の拡大が収まる見通しが立たない状況が続いています。学校では、引き続き感染対策に最善を尽くしてまいります。状況に応じて、教育活動の変更や中止を判断せざるを得ない場合があります。保護者の皆様には、何卒、ご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。

まだまだ寒い日が続いています

「立春」を過ぎても、風が冷たい日や葛城山や二上山が白くなる日もあります。子どもたちが登校してくる時間帯はまだまだ寒いです。昨日は、高学年の男子が正門の門扉に氷が付いているのを発見し、「つららほどじゃないけど・・・」と言いながら、氷の欠片を掌にのせて見せてくれました。



そんな中で、ポケットに手を入れて歩いて来る子が多いのが気になっています。転倒の際などには大きな怪我につながる危険があります。学校でも指導していますが、寒い日には手袋を着用して安全に注意しながら歩くよう、お家でも声をかけていただけると幸いです。



一人一台端末の活用～学級閉鎖の中で～

3学期に入り、いくつかの学級で学級閉鎖の措置を取りました。子どもたちがいない教室は寂しいものですが、閉鎖期間中は、それぞれが家庭に持ち帰った一人一台端末を活用し、各学級のMeetに子どもたちが集合して学習を進める「オンライン授業」に取り組みました。

子どもたちも教師も、初めはドキドキした様子でしたが、教師の問いかけに大きく頷いて反応したり、挙手ボタンを押して発言したり、決められた課題を提出したり・・・と、時間割に沿ってルールを守りながら学びを進めていました。



ICT機器は使い方を間違えてしまうと、個人情報や漏洩したり誰かを傷つけてしまったりします。しかし、正しく使うことができると大変便利な道具であり、学習や生活を豊かにしてくれます。ですから学校では、「タブレット活用ルール」や「オンライン授業の約束」を基に、皆が安心・安全・快適に活用できるよう、情報モラルについても、児童の発達段階に合わせて指導をしています。

保護者の皆様には、タブレットの保管や正しい使い方など、ご家庭でも様々なところでご配慮いただいていることに感謝申し上げます。今後とも、お力添えいただきますようよろしくお願い申し上げます。

「ありがとう集会(2月25日)」に向けて



今までお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと、5年生の児童を中心に「ありがとう集会」の準備を進めています。このコロナ禍ですので、全校で一同に集まることはできませんが、各学年で出し物(内容)を考えています。楽しい思い出の1ページになることを期待しています。